2026年11月13日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および ＫＰＩ実績値の公表について

ＪＡグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当会では、この理念のもと、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、県内ＪＡが組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献できるよう、その取組みを支援する県域組織として、以下の取組方針を制定いたしました。

今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、県内ＪＡがよりお客さま本位の業務運営を実現できるよう支援するため本方針を必要に応じて見直してまいります。

山口県信用農業協同組合連合会

Ⅰ.取組状況

1　お客さまへの最適な商品提供　【原則２本文および（注）、原則３（注）、原則６本文および（注２、３、６，７）、補充原則１～５本文および（注）】

県内ＪＡがお客さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定し、提供されるよう取組支援を行います。また、JAバンク全体として、選定する投資運用会社については、プロダクトガバナンスの実効性が確保されていることを確認するとともに、運用会社と相互に情報連携を図り、製販全体でお客さまの利益に最善を尽くすこととします。なお当会は、金融商品の組成に携わっておりません。

＜投資信託の取扱い商品ラインナップ（2026年3月末時点）＞

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 （前年度末：１）	4 （前年度末：４）
株式型	4 （前年度末：４）	5 （前年度末：5）
REIT型	2 （前年度末：２）	3 （前年度末：３）
バランス型	8 （前年度末：８）	

※　現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

＜商品選定の考え方＞

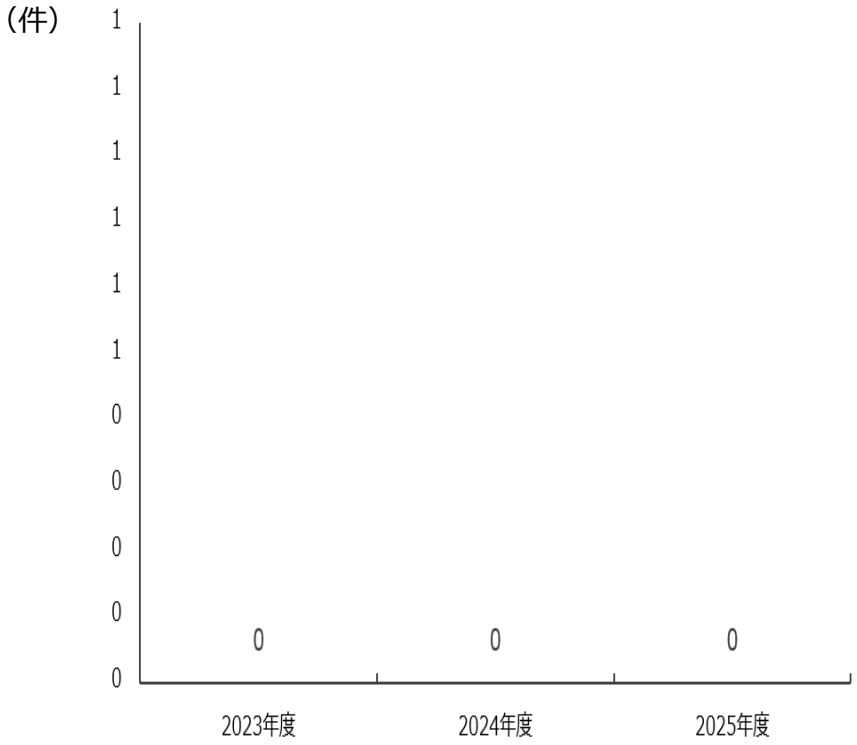
- 将来の備えに向けて、「長期投資」を前提とした投資信託であること過去の運用実績が相対的に良好であること
- 過去の運用成績の再現性が認められること
- 手数料が良心的な水準であること
- これから将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向け、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと

Ⅰ.取組状況

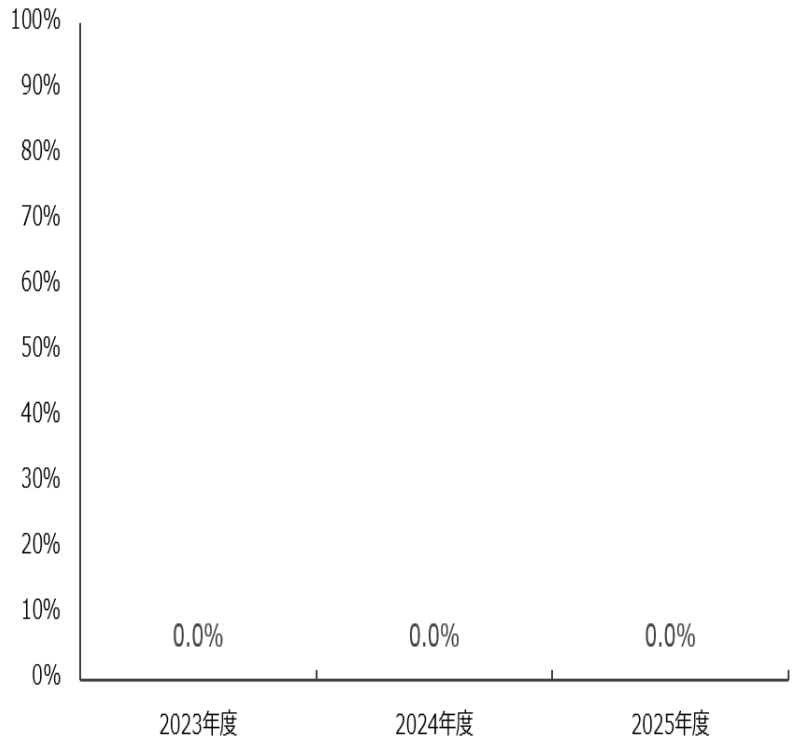
2　お客さま本位のご提案と情報提供①【原則２本文および（注）、原則５本文および(注１～５）、原則６本文および（注１、２、３、４、５）】

- ２０２３年度～２０２５年度の投信販売実績はありません。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



2　お客さま本位のご提案と情報提供②【原則２本文および（注）、原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、３、4、5）】

- 県内ＪＡがお客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、お客さまにふさわしい商品をご提案し、属性・適合性を判断したうえで販売を行うための取組支援を行います。

- 県内ＪＡがお客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供していくための取組支援を行います。

- 県内ＪＡがお客さまにご負担いただく手数料について、お客さまの投資判断に資するように、丁寧かつ分かりやすい説明に努めていくための取組支援を行います。

3　利益相反の適切な管理 【原則３本文および（注）】

- 県内ＪＡがお客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理していくための取組支援を行います。

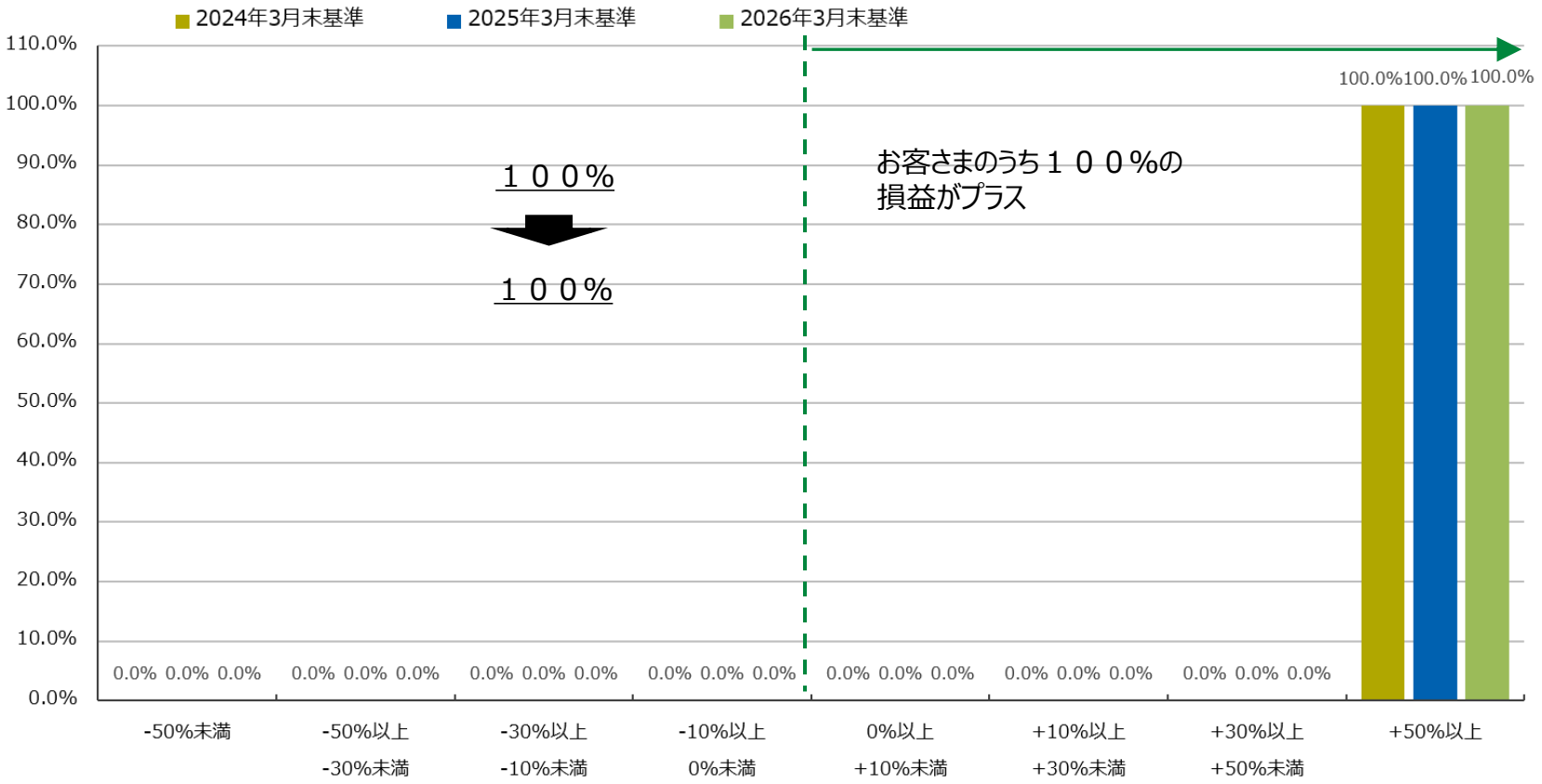
4　お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および（注）、原則6（注5）】【原則７本文および（注）】

- 県内ＪＡに対し、研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材育成支援を行い、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢の構築支援を行います。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

1　運用損益別顧客比率

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2026年3月末時点では全体の１００%のお客さまの損益がプラスとなりました。

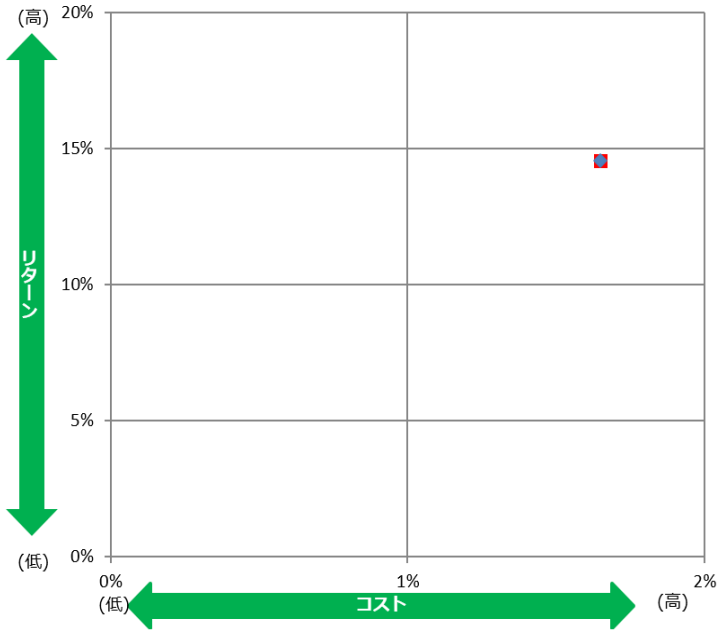


Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

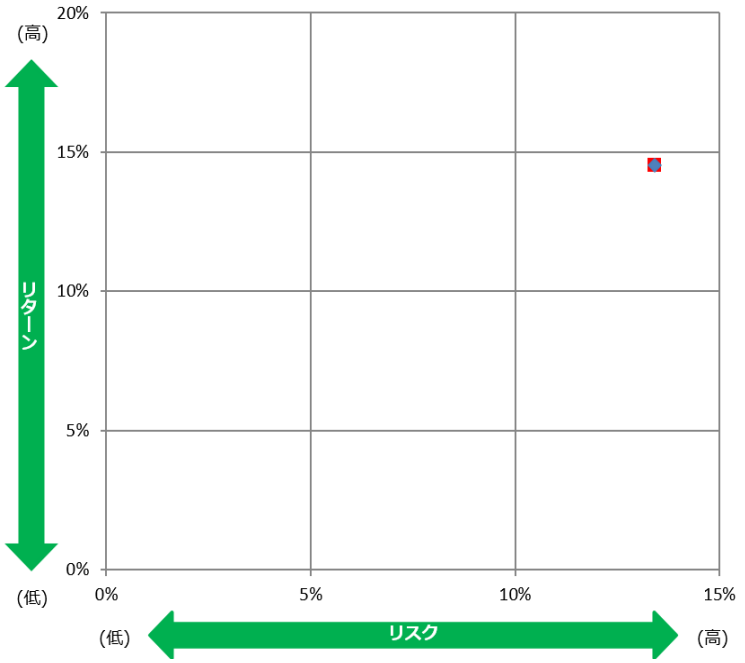
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/2）（2026年３月末）

- ＪＡバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2026年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.65%、平均リスク13.41%に対して、平均リターンは14.54%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



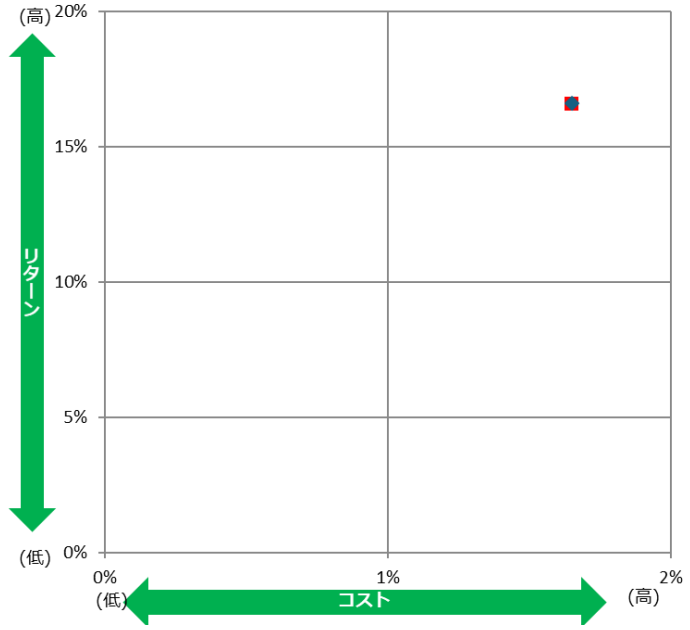
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

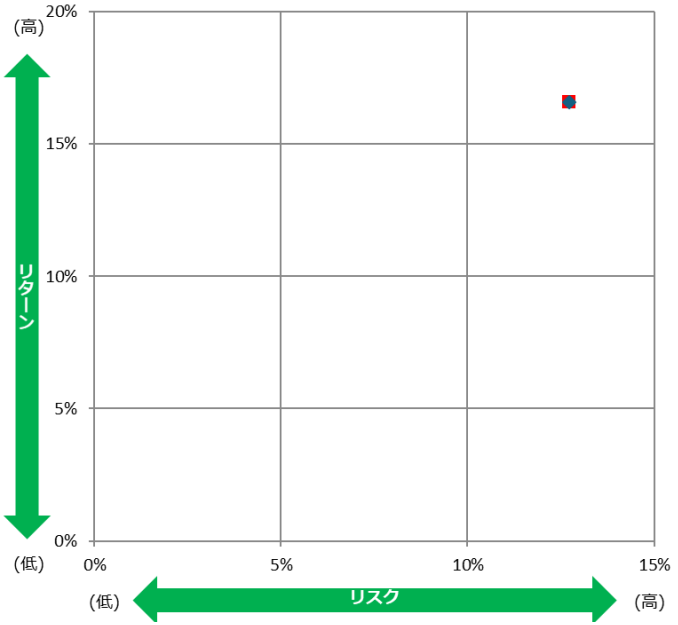
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/2）（2025年３月末）

- ＪＡバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.65%、平均リスク12.72%に対して、平均リターンは16.59%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



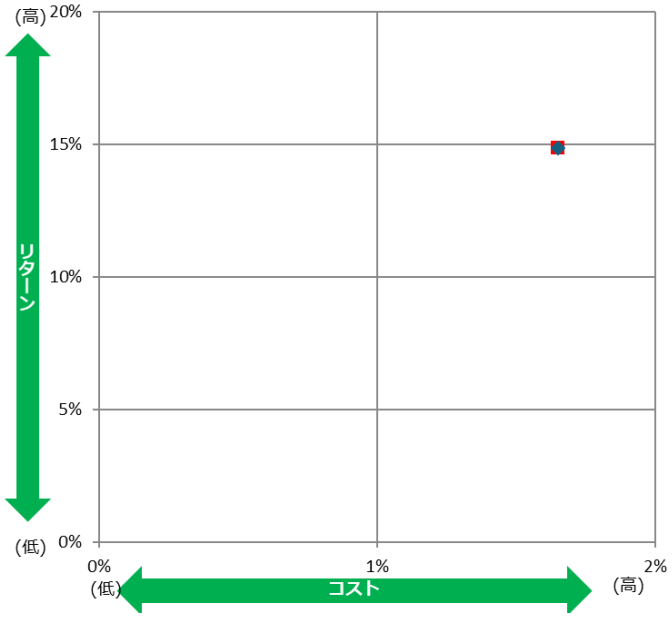
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

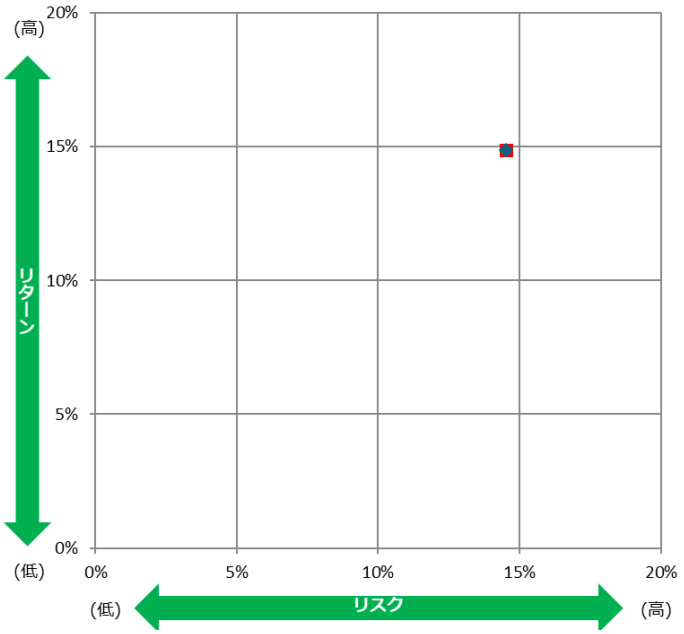
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/2）（2024年３月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.65%、平均リスク14.53%に対して、平均リターンは14.87%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/2）（2026年３月末）

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	ＪＡ日本株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.54%	13.41%	1.65%
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		14.54%	13.41%	1.65%

※ 2026年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は1本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/2）（2025年３月末）

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	ＪＡ日本株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	16.59%	12.72%	1.65%
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		16.59%	12.72%	1.65%

※ 2025年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は1本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/2）（2024年３月末）

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	ＪＡ日本株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.87%	14.53%	1.65%
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		14.87%	14.53%	1.65%

※ 2024年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は1本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。